

第1学年2組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成30年11月21日（水） 13時30分～14時15分 1年2組教室

2. 議題 「外遊び集会をしよう」

学級目標

ともだち いっぱい

みんなで たすけあう

べんきょうが たのしい

やさしい

1ねん2くみ

3. 議題について

（1）児童の実態

何事にも前向きで、当番活動や係活動に一生懸命に取り組む子が多い。入学してから、給食当番や掃除当番、そして、係活動を通して、友達と協力する楽しさやみんなのために活動するやりがいを経験してきた。その中で出来ることが増え、友だちと活動することの面白さを感じているため、友だちと関わる集団活動にとっても前向きな姿が多くみられる。その反面、友達との関わりの中で口調が強くなってしまったり、その場の勢いに流されて決まりを守れなかったりするときもある。学級目標にもある、優しいみんなで助けあうクラスを目指し、日々指導をしている。2年生に向けて、相手のことを思いやる気持ちを育てていきたい。

（2）これまでの学級活動の取り組み

学級目標は、こんなクラスにしたいという思いを子どもたちから聞き取り、集めたものである。一人一人に居場所があり、認められ、安心できるクラスにしたいという思いから学級目標を立てた。係活動では、クラスが楽しくなるような活動を目指して行っている。自分たちで考えたことをみんなの前で行うことがとても楽しいようで、どの児童も張り切って係活動に取り組んでいる。

〔話し合い活動〕

第1回学級会は、子どもたちの声の中から出た「もっとなかよくなるうしゅうかいをしよう」という議題で話し合った。「キャリア在り方生き方ノート」の冊子「ふれあい」を使用して学級会の流れを確かめた後に、教師主導で行った。学級会の流れを大まかに理解することと、自分の意見をみんなの前で発表することができた。第2回学級会は、転校してしまう児童の「おわかれかいをしよう」という議題で行った。

「〇〇さんの素敵な思い出になるような内容を決めよう。」という話し合いのめあてのもと、子どもたちからは、「手紙を渡す」「〇〇さんの好きな歌を歌う」「電車の折り紙をプレゼントする」など、友だちのことを思った意見が多く出た。第3回学級会は、転入してきた児童のための「〇〇さん、ようこそのかいをしよう」という議題で行い、第4回学級会は「かそうしゅうかいをしよう」という議題で行った。これらの話し合い活動の中で、思いがあってもそれを上手く言葉で伝えられない児童もいた。思いや伝えたいことが共通理解できずに話し合いが、進まないこともあった。教師が言葉を付け足し、思いを明確にする必要があると感じている。

〔集会活動〕

第2回と第3回では、「〇〇さんが、喜んでくれてよかった。」「〇〇さんが名前を覚えていてくれて嬉しかった。」などの振り返りがあり、実践したことを友だちが喜ぶのを見て、達成感を感じることができた。また、友だちと集会をするが楽しいという振り返りをした児童がほとんどであった。第4回の集会では、学級会後の集会の準備の時に、集会への意欲が高い児童とそうでない児童との間でけんかになってしまう

場面も見られたが、実際の集会では、どの子も協力して楽しむ様子が見られた。4回の集会を通して、子どもたちは「みんなで遊ぶと楽しい」という思いが育ってきたように感じる。

(3) 議題選定の理由

11月になり、「みんなで体を動かす外遊び集会をしたい。」という思いが議題箱に寄せられた。思いを聞くと、普段は教室遊びが多い子が、初めて外遊びをしたときに、みんなでしてみたいと感じたことが理由であった。また、校庭で集会を行うことは、初めてなので子どもたちの集会に対する意欲がさらに高まると考えた。また、経験のある外遊びについては自分の思いをもちやすいとも感じる。自分の思いを伝えることを通して、友だちのことを思う姿が見られることに期待し、本議題を選定した。

(4) 本実践で大切にしたいこと

友達と関わり楽しもうとする態度は育ってきているので、今回の学級会では、まず、児童が自分の思いを相手に伝えることを大切にしたい。その中で、話合いのめあてにもある「みんなが一緒に楽しめる遊び」を考えた発言が見られたら大いに価値づけたい。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団生活や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
11月上旬	・議題箱に「みんなで外遊びをしたい」という思いが寄せられる。	○学級全体でしてみたいことや学級目標に近づくためにできることを議題箱に入れるよう促しておく。 ☆学級生活に関心をもち、学級をよりよくしようとしている。 (集団生活や生活への関心・意欲・態度)
11月13日(火) 中休み	・司会グループと提案者で議題と話し合いのめあてを考え、決める。 ・司会グループの中で、役割分担する。	○提案者が、議題箱に入れた意見を学級に説明できるように、教師が提案者と一緒に提案理由を明確にする。 ☆学級生活に関心をもち、学級をよりよくしようとしている。 (集団生活や生活への関心・意欲・態度)

<p>11月15日(木) 朝の会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会から、議題と話し合いのめあてを学級に伝える。 	<p>○提案者の、話し合いたいという思いが十分に伝わるように、言葉を一緒に考える。 ☆話し合い活動の内容をわかりやすく伝えようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
<p>11月15日(木) 朝の時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柱①についてみんなで一緒に遊べる外遊びとその工夫を学級会ノートに書く。 	<p>○話し合いのめあてに沿った考えをもてるように声をかける。 ☆学級会に向けて進んで準備しようとしている。 (集団活動や生活についての関心・意欲・態度)</p>
<p>11月16日(金) 中休み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会がみんなの学級会ノートを見て意見を分類したり、内容の確認をしたりする。 ・画用紙を掲示する。 	<p>○どの考えが今回の議題のめあてに合うのかを考えるよう声をかける。 ☆学級会に向けて進んで準備しようとしている。 (集団活動や生活についての関心・意欲・態度)</p>
<p>11月19日(月) 20日(火) 中休み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員で、学級会の流れや板書について確認する。 	<p>○内容を確認し、学級会の流れを確かめて準備をする。 ☆学級会の進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)</p>

(2) 本時の活動

①ねらい みんなが一緒に楽しめる外遊びを話合って決める。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「そとあそびしゅうかいをしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「外遊びをすると、いっぱい体を動かして心がすっきりするし、友達と一緒に遊ぶと楽しいのでこの議題を提案しました。」</p> <p>5. めあての確認 「みんなが一緒に楽しめる外遊びを決める。」</p> <p>6. 決まっていることの確認 ・日時 12月6日(木) 5校時 ・場所 校庭</p> <p>7. 話合い 柱①「みんなが一緒に楽しめる遊びを決める」 (何をするか) あそびのせつめいタイム</p> <p>決まったことの確認</p>	<p>○座席は、コの字型にしてお互いの顔を見ながら話合いを行うようにする。</p> <p>○司会進行は、事前に流れを確認しておき、進行台本を活用しながら進めて行くよう助言する。」</p> <p>○提案者に対して、どのような気持ちで本議題を提案したかを自分の言葉で伝えることができるように事前に指導しておく。</p> <p>○事前に、集会のプログラムの概要を掲示しておくことで、話合いの見通しをもてるようにする。</p> <p>○話合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声かける。</p> <p>○その遊びの遊び方やよさの説明を聞いて、遊びについて共通理解をする。</p> <p>○友達の思いを想像して聴こうとしたり、相手に応えるために自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取り、本時や事後の活動などにかせるようにする。</p> <p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考え、発言している。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

<p>8. 振り返り</p>	<p>○今回の学級会でよかったことや実践に向けての気持ちをまとめるよう助言する。</p> <p>☆みんなで決めたことを実践することに向けて期待を抱いている。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
<p>9. 先生の話</p>	<p>○司会グループの頑張っていた点、めあてや友達を意識した意見を見つけて賞賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p>
<p>10. おわりの言葉</p>	

③板書計画

だいきかい がつきゅうかい
はじめのことは
しいグループのしようかい
ぎだい「そとあそびしゅうかいをしよう」
ていあんりゆう

そとあそびをする、いっぱいからだをうごかせてきもちがよいし、ともだちといっしょにあそぶとたのしいのでこのぎだいをていあんしました。

はなしあいのめあて
「みんながいっしょにたのしめるそとあそびをきめる。」

はなしあうこと
柱①「みんながいっしょにたのしめるそとあそびを二つきめる」
★あそびのせつめいタイム

○おにごっこ
○ドロケイ
○大なわとび
○ドッジボール
○リレー

きまつたこと
ふりかえり
せんせいのはなし
おわりのことば

プログラム
はじめのことば

①
かんそうたいむ
せんせいのはなし
ふりかえり

きまっていること

- ・12がつ6か(もく)5じかんめ
- ・こうていでする。
- ・そとあそびを2つする。

柱①の話合いで、何をするかを決める時、「ボールを柔らかくする。」など、みんなで遊ぶために工夫したルール意見が出たら、アイデアボックスに掲示しておく。決まったゲームの工夫を考える際に、改めて掲示したり、参考にしたりできるようにする。

アイデアボックス

工夫	工夫	工夫	ラッキーゾーンを作る (工夫)
----	----	----	--------------------

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
1 1月23日 (金) 朝の会	・集会の役割分担をする。	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて、自分で分担できるようにする。 ☆必要な係を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
1 1日23日 (金) ～ 休み時間	・役割分担に基づいて準備をする。	○協力して準備が進められるように声かける。 ☆係の仕事を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
1 2月6日 (木) 学級活動	・「外遊び集会」を行う。	○集会のめあてを提示し、意識できるようにする。 ○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場に し、自分たちで作ることができたことを実感することが できるようにする。 ☆何のための集会なのかを理解し、友達と協力して活 動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
1 2月6日 (木) 帰りの会	・実践後の振り返りを学級会 ノートに書く。	○話合いから実践までの流れの中で自分や自分たちに できたこと、頑張れたことなどプラスの面を振り返 るように助言する。 ☆活動に対する自分の取り組みや学級全体としての取 り組みを振り返り、みんなで集会をつくる意義を理 解している。 (集団生活や生活についての知識・理解)